

6.腹部

第62回日本医学放射線学会秋季臨床大会 イメージ・インタープリテーション・セッション出題症例

主訴	1歳男児 一週間前からの鼠径部腫脹、活気不良、食欲不振、嘔吐
現病歴	一週間前に両親が右鼠径部腫脹に気づいた。近医で当初鼠径ヘルニアを疑われたが、二日前から活気不良、食欲不振、嘔吐が出現し、緊急で当院紹介受診した。
既往歴	特記事項なし
その他	提示画像は、紹介受診日の造影CTおよび6日後の造影MRI・診察では、右鼠径部に腫脹、青紫色変化あり。柔らかく、可動性あり。熱感や発赤なし。





